

(別添4)

【静岡県焼津市】

1人1台端末の利活用計画

1 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市が教育大綱に掲げる、「優しく、強く、愛しい人」の育成を目指すため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を効果的に活用し、多様な子どもたち1人1人に個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、資質・能力の成長を一層確実なものとする。

2 GIGA 第1期の総括

本市では令和3年度から本格的に1人1台端末である「Chromebook」の活用を開始した。同時に学校教育課内に GIGA スクール推進室が設立され、「児童生徒の利活用を推進するためには、まず教員が使用する」という方策のもと、学校からの相談や要請に応じた校内研修等を行うことで、教員の活用スキル向上を目指した。

その結果、令和6年度の全国学力・学習状況調査の児童生徒対象の質問紙調査では、「ICT 機器をほぼ毎日使用したと回答した児童の割合が 50.0% (全国平均 25.3%)、生徒の割合が 58.9% (全国平均 31.0%) として表れ、方策の効果が表れている。

一方、教員の情報活用スキルの違いや校内ネットワーク環境が脆弱で多人数の同時接続ができないことで活用が難しいなど、学校間や教員間による活用の格差が見られたことが課題となっている。

3 1人1台端末の利活用方策

端末の整備及び更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを前提に、利活用の更なる推進のため以下の方策を行う。

(1) 1人1台端末の積極的活用

学校から要望の高い活用事例の共有や利活用研修について、教育委員会から学校への訪問を継続し、すべての教員が1人1台端末を活用した授業を行うことが出来るよう対応していく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

すべての教員が、児童生徒の学習ログを基に個別最適な指導を行うことができ、学習系クラウドを利用したグループ活動等の協働的な学びができる環境を目指す。

(3) 学びの保障

校内ネットワーク環境の改善を含めた学習環境の見直しを行うことで、様々な事情により教室で学ぶことができない児童生徒に対しても、学びを止めない学習環境を整備する。